

ナシの作況について(7月11日分)

農技研果樹担当

1 生育状況等

- (1)「無処理幸水」満開後 80 日の肥大状況は平年と比べ- 2.2 日であったが、90 日では、- 2.9 日となり、果実肥大は停滞傾向。GA 処理幸水は満開後 80 日の平年比は- 2.0 日であったが 90 日では- 2.3 日となり、果実肥大は停滞傾向。
- (2)「豊水」の果実肥大はやや鈍化。
- (3)「彩玉」の満開後 80 日における平年比は+3.4 日であったが、90 日では、+2.4 日となり、果実肥大はやや鈍化。他品種と比べ葉焼け症状が多い傾向。
- (4)「あきづき」の果実肥大は満開後 90 日で、平年比- 1.9 日となり、果実肥大は停滞傾向。

2 病虫害の発生状況

肩掛け散布機による補正防除を行ったので、ナミハダニの発生は小康状態となったが、生き残ったハダニ類が、高温下で再び増殖する可能性がある。今後は薬害に留意し、効果のあるダニ剤を散布し、ハダニ類が減少しないようであれば、気門封鎖剤を連用する予定。

3 早生品種の収穫

GA 処理「はつまる」の初収穫を7月6日に行った。

地色3程度で適熟となった。

昨年よりも小玉(平均果重230g)であるが、糖度は12.4度と高く食味は良好。

